

教材教具名 「いっちょーだい」	教科（算数、自活等）	情報提供者 〇
-----------------	------------	---------

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

1対1対応、マッチング、言われた数や物をいれる等のことができるようになる。

2 発達段階など

数認識の初期段階 手先の巧緻性を高める段階 等

3 使い方

① 一つの容器に一つのカプセルが対応するようにいれる。

② 上部に表示された写真と同じものを入れる。一つ入れることができるようになったら容器を二つ三つと増やしていく。

③ 上部の写真を違うものに変えて対応させて入れる。

児童やねらいに応じて、教師とやりとりの仕方を変えたり、提示の仕方を変えたりして行うようにする。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

具体物の写真からドット等の抽象的な印に変え、さらに容器の上部に数に対応した数字をつけていき、数への意識や関心を高めていければと思う。また、入れたときに容器自体に何か動きや反応（アクション、音等）があるようにしたら、もっと活動が楽しくなり意欲的に行うことができるのではないかとも思う。